

平成18年度 第1回スポーツ振興審議会 会議概要

- 1 審議会名 第1回スポーツ振興審議会.....
- 2 日 時 平成19年3月15日 午前・後7時00分から午前・後8時30分まで
- 3 会 場 豊科公民館 大会議室.....
- 4 出席者 渡辺 展猛・西村 義夫・川上 修・山田 美也・等々力 俊男・二村 昌成  
.....大谷 元旦子・青嶋 愛子・黒岩 光美・須山 芙美子.....
- 5 市側出席者 望月教育長・百瀬係長・山下主査.....
- 6 公開・非公開の別 公開.....
- 7 傍聴人 0人 記者 0人.....
- 8 会議概要作成年月日 平成19年 3月20日.....

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
- (1) 開 会 (百瀬係長)
- (2) あいさつ (望月教育長)
- (3) 任命式 ・委嘱書の授与 ・自己紹介
- (4) 役員の選任について ・会長1名(渡辺展猛市体育協会会長)  
・副会長1名(二村昌成市体育指導委員会会長)
- (5) 協議内容
- ①任務について(事務局より説明)
- ・スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画、安曇野市スポーツ振興審議会条例の確認
- ②安曇野市のスポーツ振興における現状と諸課題の整理とスポーツ振興基本計画に基づいた施策について  
(事務局より説明)
- ・市社会体育関係団体に関する諸課題について
    - 一 般…体育協会加盟団体、未加盟団体、任意団体の大きく3つ
    - 青少年…スポ少加盟団体、少年スポーツ学芸クラブ、体協直接加盟、任意団体の大きく4つ
    - 体 協…H18.4設立したが、内部の組織は今後整備を進める。  
(地域体協の役割、競技部とは…近隣の松本市等を視察し考える)
 上記団体の役割は大きい
  - ・社会体育施設関係の諸調査について
    - 施設状況調査、体育施設充足度調査
    - H18.9に料金の統一と減免規定が示されたが、運営していく段階で、諸課題がでてきている。  
もう少し、詳細な調査が必要。それを受け、施設整備等を考える。
  - ・住民対象スポーツ実施率調査について
    - 現在の安曇野市民の実施率(地域別に) } 施策目標である2人に1人が
    - 市民のスポーツに関する意識調査 } 週1回実施するためには…総合型を視野に入れて
- ↓
- 安曇野市スポーツ振興基本計画の基礎資料

## 協 議 事 項 等

- ・総合型地域スポーツクラブの取組みについて

国の施策である「スポーツ実施率をあげる」ということでは不可欠。まだ住民になじみがない。会費をとって運営するということにかなり抵抗があるのでは。総合型の先進地のマネージャー等の講演会の機会を多くもつ。

- ・行政によるスポーツ振興について（社会体育所管、健康福祉部所管、その他）

健康福祉部等と横のつながりも大事にしスポーツ振興を考えたい。

- ・その他

中学校運動部活動に関する課題について  
外部指導者等の受け入れ、推進校等の検討  
体育施設使用料の見直しについて  
見直しについて検討

- ③安曇野市スポーツ振興基本計画のスケジュールについて（事務局より説明）

H19 社会体育施設状況調査、社会体育施設利用率調査の実施  
スポーツ実施率等住民アンケート内容の検討  
H20 アンケートの実施、アンケートの集計、アンケート報告書の作成  
安曇野市スポーツ振興基本計画案作成  
H21 安曇野市スポーツ振興基本計画作成、提出

- ④その他

- 「総合型地域スポーツクラブ」について、堀金地域で取組まれているが、現在までの課題・問題点等があったら聞かせてほしい。

- ・現在までに、全地域に2回パンフレットを配布した。  
イベント等を実施して、補助金を利用して参加賞等用意している。  
地域の各種大会等にすべてかかわり活動をしてきた。  
教室の実施については、外部講師を招いて実施した。  
スポーツレストランを計画して、子どもから大人・家族で楽しめるイベントを実施した。  
今後は補助金が無くなった場合のことを考え、会費を上げることも考えている。  
体協・スポ少と総合型地域スポーツクラブと保険料がダブってしまうことが、問題となってきたりしている。

- 補助金が出ていたうちは、うまくいっていたがなくなったらクラブの運営がうまくいかなくなった話を聞くことがあるが。

今後は会費の徴収について、大きな問題となってくるのではないか。

1家族 月4,000円程度徴収しているところもある。

堀金は、現在200名程度の会員がいる。

総合型に入るメリットとして、施設使用が優先的に確保できるメリットを出せば、会員も増えるのではないか。

- 振興計画の中で、総合型クラブの推進をしていくのか。

2人に1人は、週1回運動に親しむことを目標にすることを目指して、実践して行くのが総合型クラブと国は考えている。

地域の指導者も取り込んで、教室の実施・放課後子どもプランの併用も検討の1つでは。

- 次回の会議は、6月中旬に開催予定（体育施設状況調査の結果も提示）